

編集 後記

新緑の輝く季節となりました。本誌が届く頃、10月に北海道札幌市で開催される第83回日本公衆衛生学会総会に演題登録を完了された会員の皆様がいらっしゃるものと存じます。学会参加の垣根を下げるために、協力会員制度が始まりました。この制度を契機に、多分野の実践者・研究者・市民など多様な立場の人々の参加が増えることで、複雑多様な公衆衛生上の課題に対する協働での研究・実践につながることを心より祈っております。

さて、第71巻5号では原著3編が掲載されています。テーマは、2編は介護分野の人材について、1編は学校保健分野についてです。今日的な公衆衛生学上の重要課題に対する解決策につながる研究成果が報告されています。

まず、原著第1編は、行動経済学の知見から行動変容を促すナッジに基づいた介護職員初任者研修受講案内が求職者の受講行動に与える影響についての実証分析です。求職者の受講行動の促進には、従来の施策や単一のナッジに比べて、複数のナッジを組み合わせた受講案内が効果的であったこと、介護人材の確保に向けた行政施策へのナッジの活用可能性を報告しています。

一方、原著第3編では、全国の老人保健福祉施設対象の調査データを分析し、高齢介護助手の雇用は介護職員が感じる業務促進・阻害要素の変化に関与し、さらにそれらが介護職員の低い情緒的消耗感と関連したことが報告されています。介護職員の負担軽減や精神的健康の観点に加えて、高齢者就労支援の観点からも高齢介護人材の雇用が重要であることが示されています。

また、原著第2編では、高校生と担任間でおこなわれている日常会話の頻度を測定する「高校生版学級担任との日常会話尺度」を新たに開発し、高校生を対象とする2つの調査から、試作版開発とその仮説検証により妥当性と信頼性を確認しています。高校生のメンタルヘルス不調に対する一次予防策として学校保健分野での活用が期待されます。

本誌では、原著のほか、公衆衛生活動報告、資料など幅広い種類の論文を投稿いただけます。特に総会へ演題を登録された皆様には、発表の成果に基づく論文をご投稿されることを前向きにご検討いただけますと幸いです。幅広い分野のご投稿をお待ちしております。

(有本 梓)

次号予告 (第71巻・第6号)

原 著

高齢者が感じる生活支援の必要性和住民との関係性：農村部における生活支援未利用者への横断調査……………齋藤尚子，他
アルファ/デルタ株優勢時期における新型コロナウイルス感染症患者に対する mRNA ワクチンの入院予防効果……………爾見まさ子，他

資 料

バイオテロに対する保健師の研修経験および知識・認識の現状……………鈴木良美，他